

1 学年英語科学習指導案

授 業 者 境 洋子

- 1 日 時 平成 16 年 10 月 5 日 (火) 第 6 校時
- 2 学級名 1 年 5 組 (男子 21 名、女子 19 名、計 40 名)
- 3 主 題 Speaking Plus 3 道案内

4 主題について

(1) Speaking Plus 3 について

本教科書の単元構成は、文法と題材が中心の「Unit」と、実践的コミュニケーション活動の基礎を育成する。「Plus」の 2 部構成となっている。1 学年においては、Plus はさらに「Listening Plus」「Speaking Plus」「Reading Plus」「Writing Plus」など中心技能別に分けられたものと、語句に焦点をおいた「Word Plus」にタイプ分けされている。本単元の「Speaking Plus」では、3 学年 3 段階に分けて扱う「道案内」の中で、「乗り物での行き方を尋ねる・教える (バスを使った単純な指示)」がテーマになっている。3 人称単数現在形の復習・応用にもなっているが、そこに触れながらも、定型的な表現としてとらえさせたい。バスに乗るという場面での、定型的なやり取りを扱っているため、その基本表現が、スムーズにかつリズムカルに言えるようになることで、自然に口から出てくるようになっていくことを期待するものである。

(2) 生徒の実態

全体として、英語への関心は高い方と言える。しかし、一部に苦手意識をもっている生徒もおり、活動に消極的になりがちである。また、授業態度はよいのだが、全体的に幼く、活動に対する理解がいきわたらないことがある。そのため、一つ一つの活動を行う際に、その目的や、手立てを細かく説明しなければならない。それ故、本校の英語科の研究課題でもある「課題の焦点化」をしっかり行い、生徒が理解しやすい言葉で課題の明確化を図り、課題解決の手立てが段階的に行われるよう工夫し、定着へとつなげていく必要がある。

「道案内」では、3 人称単数現在形の復習・応用の表現がでてきている。主語が he, she, 人名の場合に一般動詞に 3 単現の s が付くことは概ね理解できているが、正しく書くことは不十分である。また、無生物主語に対する 3 単現の s は初出であるが、できるだけ詳しい説明をさせたい。また、疑問詞 which も初出で、さらに疑問詞が主語になっているため、生徒には難しいと思われる。従ってそれらを含む文章を定型的表現としてとらえさせ、3 単現の s に対する苦手意識をもたせないようにしたい。

(3) 指導の構想

英語科では、実践的コミュニケーション能力の育成のため、基礎となる表現の反復練習と、コミュニケーション活動を授業の中に取り入れている。しかし、ただ、目標文の定着のための練習を行うのではなく、生徒の「学ぼうとする力」を育てるために、課題の焦点化と課題解決の過程を工夫したいと考えている。そのためには、前時の学習内容から本時の学習内容にスムーズにつなげていくとともに、日常の生活とつなげた形で焦点化を図りたい。また、課題解決についても、口頭練習を繰り返し行い、全体から個人に返すように段階的に行っていきたいと考える。

本単元の「乗り物での行き方を尋ねる・教える」という活動は、実際の生活場面においてとても有用な表現であり、実践的コミュニケーションに即生かせる内容といえる。それ故に、日常的によく使われるであろう場面を設定し、コミュニケーション活動を行うことは意義深いものと考えられる。一方、文法的にも難しい表現を取り扱っており、1 時間で扱うのは難しいと考えられる。よって、1 時間目に基本表現及び文法事項の説明、2 時間目にその他の表現 (Option) 及びコミュニケーション活動へとつなげていきたいと考えた。

5 Speaking Plus 3 の目標

- (1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度
教師とのインタラクションや友達との会話活動に対して、意欲的に取り組もうとする。
- (2) 表現の能力
乗り物での行き方を尋ねたり教えたりするときの基本表現を使って、対話することができる。
聞き返して確認したり、つなぎ言葉を用いるなどして対話を続けることができる。
- (3) 理解の能力
教師 / CD の英語を聞いて、話の要点を落とさずに聞き取ることができる。
- (4) 言語や文化についての知識・理解
3人称単数現在形について、正しく理解している。

6 指導計画

- (1) 目的地までの乗り物での行き方を尋ねたり教えたりすることができる。・・・1時間
- (2) 習った表現を使って、乗り物に乗って目的地に向かうことができる。・・・1時間（本時）

7 本時について

- (1) 本時の目標
 - ア 友達との会話活動に対して、意欲的に取り組もうとする。（関心・意欲・態度）
 - イ いろいろな表現を使って、乗り物での行き方を尋ねたり教えたりすることができる。（表現）
 - ウ 実際の場面を想定して、乗り物に乗って目的地に向かうことができる。（表現）
- (2) 研究主題にかかわる本時の構想
 - ・ 課題の焦点化
前時の学習内容と結び付けながら、本時の課題へと導いていく。教師がモデル対話をおこない、生徒の興味・関心をひきつける。そこに新しい表現を組み込み、その有用性と会話の幅が広がることに気付かせたい。既習表現に加え、さまざまな表現を取り入れることは、より現実的で実際に使える英語の世界が広がることになる。また、さらにレベルアップした対話を試みることは、生徒の意欲につながっていくものと考えた。
 - ・ 課題解決の過程の工夫
実際の場面を想定して、習ったさまざまな表現を使い、乗り物に乗って目的地に向かうようなコミュニケーション活動（ロールプレイ）を行う。本時の学習課題を達成させるために、基本表現の練習、会話練習をいろいろな方法で段階的に多く取り入れ、自信をもってロールプレイにのぞめるような手立てを講じる。

8 本時の展開

 : 学習課題 : 予想される生徒の反応
 関 : コミュニケーションへの関心・意欲・態度 表 : 表現の能力 理 : 理解の能力 知 : 言語や文化の知識・理解

段階	過程	学習活動	指導上の留意点	評価の場面と 具体的評価規準	教材・ 教具
導入 10分	課題づくり	1 Warm up Greetings Review	<ul style="list-style-type: none"> 英問英答、日本語による質問応答等 interactive な活動を行いながら、課題の焦点化を図る。 実際の場면을イメージさせ、場面に応じたより有効的な表現があることに気付かせる。 いろいろな表現を使うことで、より実用的な会話になっていくことに気付かせ、意欲をもたせる。 	関：話題になっている題材に興味・関心を持ちながら取り組んでいる。	ピクチャーカード 紙板書
		2 本時の学習課題の把握 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 道案内 ~その2~ 習った表現を使い、バスに乗って目的地に向かおう。 </div>			
展開 35分	課題追求	3 課題追求 Useful expressions <ul style="list-style-type: none"> 場面、状況の把握 言い方の練習 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 英語らしく発音することが難しい。 無生物主語と動詞の関係が分からない。 </div> Dialog <ul style="list-style-type: none"> 運転手と乗客に分けての表現練習 Choral Group Pair <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> リズムカルに言えるようになってきた。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 場면을把握させたくうえで、有用な表現の定着を図る。 既習の表現を取り込みながら、実際の場面にせまる表現活動を行う。 口頭練習をくり返す中で、自分もできそうだという見通しをもたせる。 	理：場面に応じた表現を理解することができる。 表：基本表現をリズムカルに言うことができる。 表：場面に応じた表現を運用できる。	紙板書 色鉛筆 配色カード ピクチャーカード
		4 課題解決 Role play <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 習った表現を使って、目的地に向かうことができた。 </div>			
終結 5分	まとめ・発展	5 課題の確認と評価 6 次時の予告	<ul style="list-style-type: none"> 乗り物に乗って目的地に向かうために有用な表現を確認する。 		

本時の評価規準と具体的評価規準

領域	評価規準（観点）	A の状況例	B の状況例	C への手立て
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・話題になっている題材に興味関心をもちながら取り組んでいる。（関心意欲） ・乗り物での行き方を尋ねたり教えたりするいろいろな表現を理解することができる。（理解） 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に照らし合わせながら話題になっている題材に興味・関心を持ちながら聞き取るようとしている。 ・乗り物での行き方を尋ねたり教えたりするさまざまな表現を聞いて大事な事柄を正しく聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話題になっている題材に興味・関心を持ちながら聞き取るようとしている。 ・乗り物での行き方を尋ねたり教えたりするさまざまな表現を聞いて大事な事柄をほぼ正しく聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インタラクションを通して話題になっている題材に耳を傾けようとする意欲を喚起する。 ・聞き取れた語を指摘させる。
話すこと	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り物での行き方を尋ねたり教えたりする表現をリズムカルに言うことができる。（表現） ・友達との会話活動に対して、意欲的に取り組もうとする。（関心意欲） ・実際の場面を想定して、乗り物に乗って目的地に向かうことができる。（表現） 	<ul style="list-style-type: none"> ・対話の流れに沿ってスムーズに、リズムカルに言うことができる。 ・実際の場面を想定し、既習表現を有効に用いて会話を展開しようとしている。 ・聞き返しやつなぎ言葉を有効に使いながら、場面に応じて、乗り物での行き方を尋ねたり、教えたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本となる表現をスムーズに、リズムカルに言うことができる。 ・既習表現を用いて会話を展開しようとしている。 ・乗り物での行き方を尋ねたり、教えたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新出単語や基本となる表現の発音を指導する。 ・会話を継続させるために必要な基本的な表現にポイントをしぼり指導する。 ・会話を継続させるために有効な基本的な表現を再度指導する。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り物での行き方を尋ねたり教えたりするいろいろな表現を書くことができる。（表現） 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面を想起し、対話の内容を理解しながら、習った表現を正しく書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面を想起しながら、習った表現を正しく書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書などを参考に、習った表現を視写させる。